

薄闇のなかから聞こえてくるのは

人々の囁きか、

石たちのざわめきか

六田 知弘



時のむこうの ©Muda Tomohiro



六田知弘写真展

「時のむこうのロマネスク」

Romanesque

ロマネスク 2025 ©Muda Tomohiro

六田 知弘写真展

「時のむこうのロマネスク」

MUDA TOMOHIRO

11月7日(金)～12月1日(月)13:00～17:30【定休:火・水曜】

作家在廊日:11月8日(土)、9日(日)

略 歴 1956年奈良県生まれ。
1982年よりネパールヒマラヤ山中のシャルバの村に暮らして撮影。
1988年初個展「ひかりの素足-シェルバ」(新宿ニコンサロン)を開催する。
以降、「自然や宇宙と人間との根源的なつながり」を遠くを探りながら、モノ、風景、石、水、壁、人、文化財や遺跡、古美術品など様々な事象を対象に撮影し、写真展や出版を通じて発表する。
2007年 国立西洋美術館で「祈りの中世 ロマネスク美術写真展」を開催。
2008年 中国の「雲岡石窟」の全容を撮影し、2011年写真展「雲岡 仏宇宙」(蔵山龍泉堂)を開催。
2009年より写真展「サンティアゴ巡礼の道 六田知弘 東洋のまなざし」が世界各地を巡回中。
2011年の震災後の東北地方にて、津波にのまれ打ちあげられた被災物を撮影し、
2013年より写真展「時のアイコン-東日本大震災の記憶」として相田みつを美術館や渋谷区立松涛美術館など、国内外を巡回。
2014年 大阪市立東洋陶磁美術館で「連-清らかな東洋のやきもの×写真家・六田知弘の眼」を開催。
2017年 大阪と奈良県御所市にて「写真家 六田知弘 宇宙のかげら-御所GOSE」を開催。
2018年 静岡県の池田20世紀美術館にて 六田知弘写真展「壁・ヒミツノアリア」を開催。
2020年 六田知弘写真展「仏宇宙」を相田みつを美術館で開催。
2021年 3月ポルテ金沢にて、東日本大震災から10年、「時のアイコン展」を開催。
2023年「運慶と快慶 六田知弘・佐々木香輔写真展」(相田みつを美術館)を開催。
そのほか、国内外の美術館やギャラリーなどでの個展多数。

2026年3月末まで奈良国立博物館で「三千世界 写真家 六田知弘の眼」を開催中

写真集 『石と光 シーのロマネスク聖堂』(平凡社刊) / 『時のアイコン 東日本大震災の記憶』(平凡社刊)
『ロマネスク-光と闇にひそむもの』(生活の友社刊) / 『仏宇宙』(生活の友社刊)
『運慶』(求龍堂刊) / 『三千世界』(求龍堂刊)など多数。

POST CARD

料金別納郵便

アート
玄 羅
gen ra

〒920-0853 金沢市本町2丁目15-1 ポルテ金沢3F
TEL/FAX 076-255-0988 [ホテル日航金沢横]
E-mail genraart@ozzio.jp
Web http://genraart.com



玄羅アート

定休日が火・水曜に変わりました

